

9/20 (日) 13:15-14:30
Zoomウェビナー

海外 どうですか?

～欧・米・アジア、比べて見えてくる多様な研究ライフ～

植物学会会長挨拶 三村 徹郎 (神戸大学・名誉教授)

ダイバーシティの現状

井川 智子 (千葉大学・大学院園芸学研究科・准教授)

パネルディスカッション 「海外どうですか？」

パネリスト:



豊田 正嗣 ウィスコンシン大学 マディソン校
(現 埼玉大学 大学院 理工学研究科 准教授)



中野 亮平 トーマス マックス・プランク 植物育種学研究所

Department of Plant Microbe Interactions, Principal Investigator



山室千鶴子 福建農林大学 HIST-HBMC 教授

司会: 爲重 才覚 (横浜市立大学・木原生物学研究所・特任助教)

植物学会会長挨拶

三村 徹郎

(神戸大学・名誉教授)

ダイバーシティの現状

井川 智子

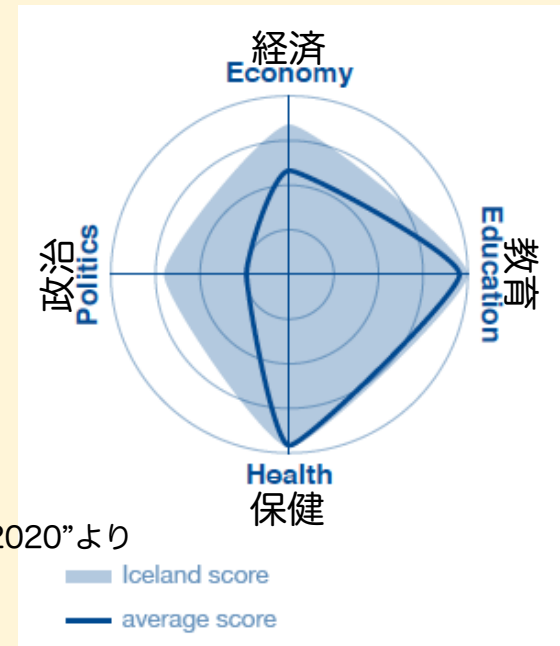
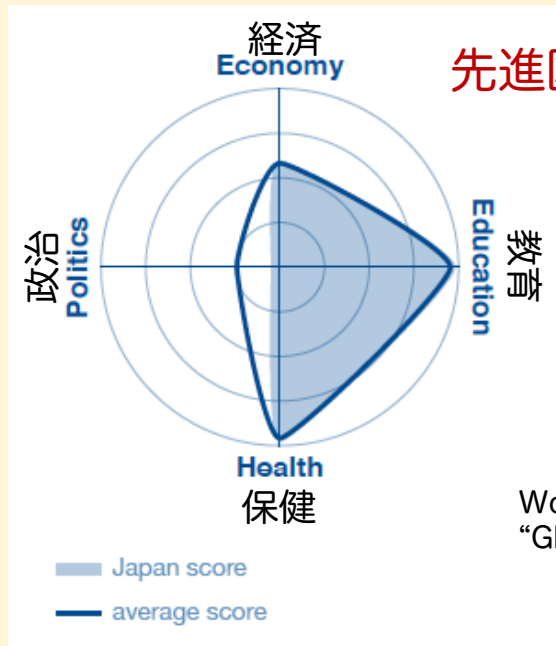
日本植物学会ダイバーシティ推進委員会委員長
(千葉大学・大学院園芸学研究科・准教授)

改めて、「女性比率」

「2020年までに指導的地位に女性が占める割合が少なくとも30%」
・・・国連「ナイロビ将来戦略勧告、1990」に基づく

日本 (121位/153カ国)

アイスランド (1位/153カ国)



研究職・技術職

日本	16.6%	アイスランド	46.4%
		イギリス	38.7%
		アメリカ	33.4%

「第5次男女共同参画基本計画策定に当たっての基本的な考え方」
記載データより

日本植物学会の男女比データ

2020年度 会員数内訳

	一般	学生	計
女性	288	140	428
男性	1086	259	1345
計	1374	399	1773

構成率	女性会員比率		
	全体	一般	学生
2009	19.9%	14.8%	41.3%
2011	21.6%	16.5%	40.1%
2013	22%	18%	42%
2015	24%	19%	42%
2017	25.5%	20.1%	43.2%
2019	24.4%	20.2%	38.8%
2020	24.1%	21.0%	35.1%

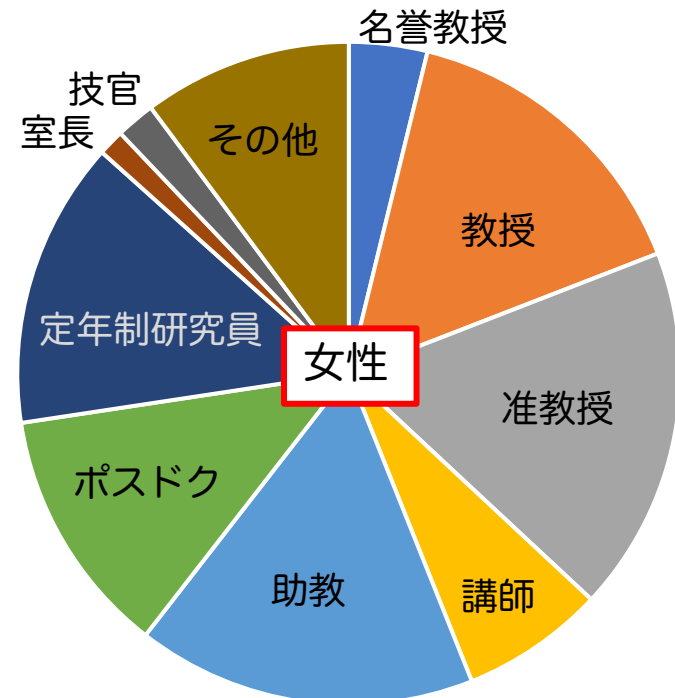
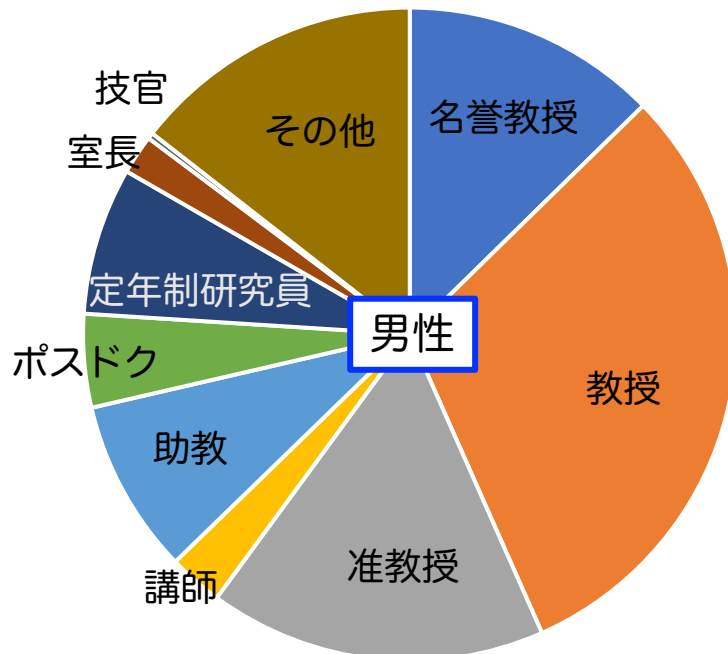
10年間で5%ほど比率が向上しており、日本植物学会は女性の割合が高い

一般会員の性別ごとのポジション比較

女性では教授以上のポジションに就いている割合が低い

しかし、准教授までのポジションは同程度で、若いポジションになるほど多い

	女性	男性
名誉教授	6	85
教授	24	206
准教授	28	112
講師	11	18
助教	26	58
任期付き研究員	19	31
常勤研究員	22	49
室長	2	13
技官	3	2
その他	16	97
不明	131	415
計	288	1086



男女共同参画委員会 から ダイバーシティ推進委員会 へ

回	年	タイトル	テーマ
第1回	2010	◇男女共同参画、世界の中の日本 ◇学内学童保育所の作り方	男女共同参画
第2回	2011	男女共同参画への取り組み～大学の現状に学ぶ～	男女共同参画
第3回	2012	～イクメン過去現在未来～	育児
第4回	2013	研究者流タイム・マネジメントを考える	タイムマネジメント ト・育児
第5回	2014	Living and Working Together ～若手研究者が直面する壁とその打開策～	キャリアパス
第6回	2015	「イクボス」ってご存じですか？ ～研究と育児を両立する若手研究者を雇用する PIの意識改革は必要か？～	育児
第7回	2016	裁量労働制を活用した柔軟な研究と育児の両立に向けて ～研究と育児の両立・研究者だからこそそのアプローチ～	育児
第8回	2017	パパ育休とったよ ～男性研究者の育休ライフ～	育児
第9回	2018	あなたも、明日にも直面するかも、介護の問題	介護
第10回	2019	じつは強力、博士号！ ～目からウロコのキャリアパス～	キャリアパス
第11回	2020	海外どうですか？ ～欧・米・アジア、比べて見えてくる多様な研究ライフ～	キャリアパス・ライフスタイル

パネルディスカッション 「海外どうですか？」

パネリスト:



豊田 正嗣 ウィスコンシン大学 マディソン校
(現 埼玉大学 大学院 理工学研究科 准教授)



中野 亮平トーマス マックス・プランク 植物育種学研究所
Department of Plant Microbe Interactions, Principal Investigator



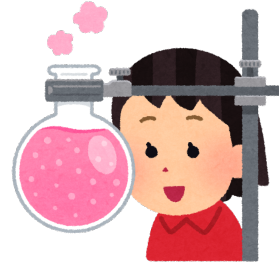
山室千鶴子 福建農林大学 HIST-HBMC 教授

司会: 爲重 才覚 (横浜市立大学・木原生物学研究所・特任助教)

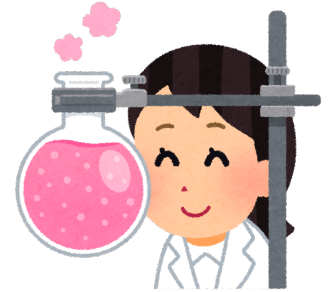
会場への質問

現在の立場は？

- 学生（学部、修士、博士）



- 任期付き研究職（研究員・特任助教など）



- アカデミアでパーマネント職



- その他（企業、大学URA、他）



パネルディスカッション

各国研究業界のダイバーシティ

- ・ ジェンダーバランス
- ・ 年齢・国籍
- ・ 育児・ワークライフバランス

会場への質問

もっと聞きたい話題は？

- ・生活・言語などのこと



- ・キャリア形成上の海外の魅力



- ・フェローシップやグラントの話



パネルディスカッション

日本の研究者が活躍するために

- ・ 海外に行くメリット/デメリット
- ・ 言語（文化, 法律, 医療など）の問題
- ・ 学生へのアドバイス



視聴者の皆様へ、ここまでのお話で楽しめた方、挙手お願いします

パネリストの皆様から一言

まとめ

パネルディスカッション 「海外どうですか？」

行くかどうかは自分次第

苦労もあるが日本では得難い経験・環境もある
長期的に行きたい時は現地や日本の資金など複数の計画を

国際学会に参加しよう！

国内の先輩に経験・アドバイスを聞こう！

日本の研究機関の国際化も重要